

選挙人名簿登録者数
(令和2年12月1日定時登録
現在)

男 307,818名
女 314,703名
計 622,521名



ELECTION

～せんきよ
《明選だより》～

ELECTION (エレクション)とは、英語で「選挙」の意味です。

第72回明るい選挙ポスターコンクール

東京都優秀賞



つばさ総合高等学校2年
荻原 凜 さん



六郷工科高等学校2年
城 結斗 さん

イラストレーター
つかはら ゆき さんの
漫画を掲載しています！



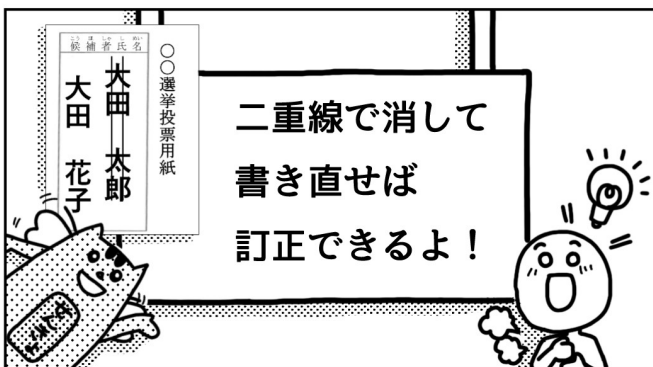
毎年、総務省・都道府県・区市町村が将来の有権者である児童・生徒の選挙への関心を高め、政治意識の向上を図るために「明るい選挙」をテーマとしてポスター作品の募集をしています。
令和2年度は、コロナ禍にもかかわらず、区内に在住・在学している小学生・中学生・高校生から131作品の応募をいただきました。学校関係者の皆様方の多大なるご理解ご協力に心より感謝申し上げます。
たくさんのご応募ありがとうございました。

東京都入選

- 山王小学校
5年生 安本 結芽 さん
- 南六郷中学校
2年生 和泉本 桜花 さん
- つばさ総合高等学校
2年生 浅野 梨々香 さん
- 六郷工科高等学校
2年生 菱沼 ユリア さん



間違えちゃった…

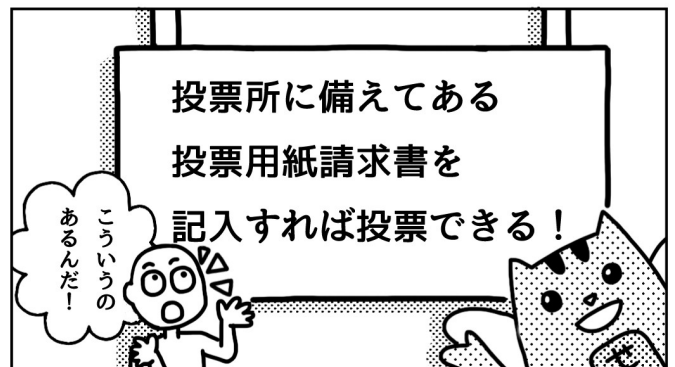


投票用紙は特殊な素材で作られており、消しゴムで消すと汚損や消し跡が残り、無効票につながる可能性があります。そのため、大田区では投票所に消しゴムを置いていません。

投票用紙に間違えて記入してしまった場合は、二重線で消して、再度正しく記入してください。

また、投票用紙を著しく汚損してしまった場合には、投票所の係員に申し出てください。新しい投票用紙を請求することができます(令第36条)。

入場整理券を忘れて…



投票所入場整理券は、選挙が行われることをお知らせすることと選挙人名簿との照合をスムーズに行うため送付しています。そのため、入場整理券を忘れた場合でも選挙人名簿に登録されていれば投票できます。

期日前投票では、選挙当日に投票へ行けない事由を申し立て、その申し立てが真正であることを誓う宣誓書を提出しなければなりません(令第49条の8)。

選挙の当日入場整理券を忘れた場合は、投票所で再発行しますので、係員に申し出てください。

病院でも投票したい



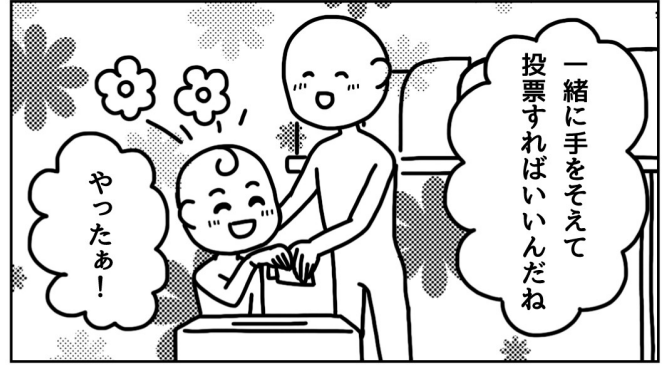
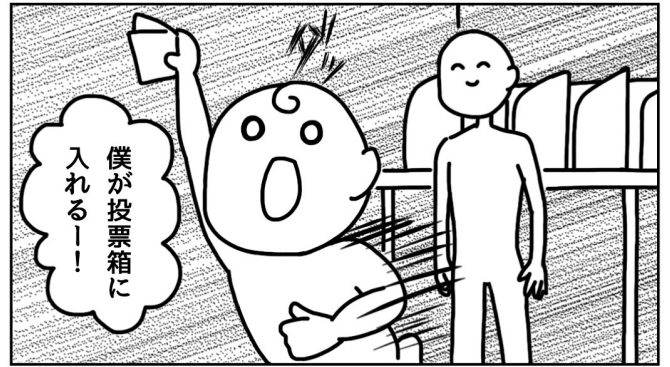
不在者投票ができる施設として、都道府県の選挙管理委員会が指定している病院、老人ホーム等に入院・入所中の方で、投票日当日に投票所に行けない方は、その施設内で不在者投票をすることができます。

施設での不在者投票を希望する場合は、入院・入所している施設にお問い合わせください。

なお、入院・入所中の方の付き添いの方は、施設での投票はできません(法第49条、令第55条)。

大田区HPに大田区の指定施設一覧を掲載しています。

僕も投票したい!



- 平成28年の法改正で、選挙人に同伴する18歳未満の子供も投票所に入ることが認められました(法第58条)。
- ただし、投票用紙の記載や投函については、選挙人は投票用紙に自書して、これを投票箱に入れなければならないとされています(法第46条、令第37条)。
- そのため、同伴する子供が選挙人に代わって投票用紙に記載をしたり、投票箱に投函したりすることはできません。選挙人が手を添えるなどして、あくまで選挙人自身がこれらの行為を行う必要があります。

若年層投票立会人の皆さんから

ご意見・ご感想

若い世代の方々に選挙をもっと身近なものとして感じていただくとともに、明るい雰囲気での投票できる投票所づくりを促進するため、18歳から25歳までの若年層の方に投票立会人をお願いしています。

令和2年7月5日に執行された東京都知事・都議会議員補欠選挙では16人の方に投票立会人をしていただきました。選挙に対して感じたことや投票立会人を経験して感じたことについてご意見・ご感想をいただきましたので紹介します。



期日前投票所の立会人を経験して

根本 彩花 (19歳)

「若者は政治に関心がない」私もよく耳にする言葉です。今回、期日前投票所の立会人を経験する貴重な機会をいただき、その言葉の実感を持つと同時に期日前投票の可能性を感じました。

以前から投票所のスタッフとして携わる機会が何度かあったのですが、今回は「立会人」という立場で投票所の様子を知ることができました。やはり期日前投票に訪れる方の年齢層は比較的高いことが印象的で、私たち若者が「政治に関心がない」と言われてしまっても致し方ないと思いました。

一方で、投票に訪れている若年層の方々は、これから仕事に向かうであろう服装をされた方や、家族で散歩の途中に訪れたと思われる方など、自分の生活スタイルに合わせて無理なく投票に参加できていると感じました。生活スタイルが多様化している今、「自分の生活に合わせる無理なく投票できる」というのは期日前投票の大きなメリットではないでしょうか。多くの若年層の方々がこのことを認知し、選挙に参加することで、投票率を上げることができるのではないかと思います。

今回の経験を通して、期日前投票の意義を再認識すると同時に若年層の投票について改めて考えさせられました。期日前投票が若年層にとって投票するきっかけになれば良いと思います。

投票所の立会人をやってみて感じたこと

榊原 衆太 (21歳)

私が都知事選の立会人をして思ったことは、前情報どおり年配の方や社会に出て働いている世代の投票者は多いが、若い世代は少ないこと、その中でも主に個人で来ている人は少なく、親と一緒に来ている人が多く感じました。投票率の高い世代にとつては、住民の代表を選出する選挙が、直接的に自分自身や家族が生きていくうえで重要な要素となりえます。しかし、私を含め若い世代は、自分に影響を及ぼすとは考えていないため、興味も湧かないこと、仮に若い世代が投票に行つたとしても、投票会場内に同世代が少ないため場違いな感じが強く、次の投票に行こうとは考えにくいのだろうと感じました。こうした状況などから、将来はインターネット投票も行うべきなのではと思いました。便利な面もある一方で課題は多く、より慎重な整備が必要になるでしょうが、投票会場に行きにくいと考える若い世代の投票がしやすくなるように思いました。



投票立会人を初めて経験して感じたこと

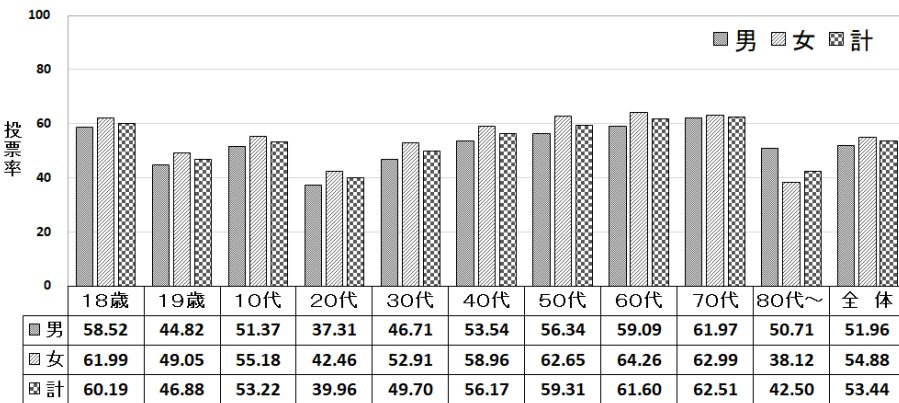
佐藤 濤 (22歳)

今回の東京都知事・都議補欠選挙において、初めて投票立会人を務めました。長い時間座り続けるのは大変でしたが、一方で今まで気づかなかった発見がありました。

例えば時間帯ごとの投票数や年齢層の違い、投票を長く悩まれている方の様子、視力や足の不自由な方が自分の手で投票を行う姿などです。投票側からすると「監視」されている感覚を覚えるかもしれませんが、立会人としては投票を「見届ける」という表現がより適すると感じました。

これまで選挙は事前に意思決定を済ませて投票自体は淡々と行うもの、という印象を抱いていましたが、実際に一票一票が時間とともに積み上がるにつれ、その重要性をひしひしと感じました。以前に選挙事務を務めた際は手元の仕事に集中していたため、改めて選挙に立ち会うことで貴重な経験ができました。自分の投じる一票の重みを忘れず、今後の選挙にも臨みたいと考えています。

令和2年東京都知事選挙年代別投票率



若年層の投票率について

若年層の投票立会人の皆さんから「若い世代の投票者が少ない」との意見があるように、若年層の投票率は低い傾向にあります。

左のグラフは、令和2年7月5日に執行された東京都知事選挙の年代別投票率を表したものです。大田区全体の投票率は53・44%で、10〜30代の投票率はいずれもこれを下回っています。特に20代の投票率は最も低く、10代と比較しても10ポイント以上下回っているのがわかります。

これからも若い世代の皆さんへの啓発活動や主権者教育の充実を図り、選挙に関心を持ってもらえるよう活動してまいります。



18歳の投票率は60.19%、19歳の投票率は46.88%だったよ。当日投票所に行けない場合は、期日前投票や不在者投票の制度もあるよ。ぜひ利用してね！

投票立会人をやって感じたこと

根本 優花（19歳）

私は今回、投票立会人を務めさせていただき、コロナ禍で不安ではありましたが、感染予防対策の徹底により安心して立会うことができました。

その中で私は、このような時期だからこそ、どうしたらより良い暮らしが実現できるのか一人ひとりの有権者が考えていくことが大切だと感じました。そして、私たちの声を届けるための選挙に参加するということは、とても意義のあることだと改めて思いました。

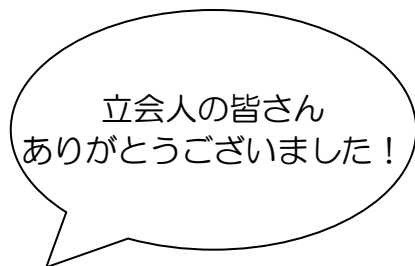
平成28年の選挙から選挙権は18歳以上に引き下げられたものの、若者の投票率は低い状態が続いています。私は今回の立会人の経験を踏まえ、周りの友人との会話の中で選挙の参加を呼び掛けていきたいと思っています。そして、少しでも選挙への関心を持ってもらい、若者が当たり前のように選挙に参加する社会になれば良いなと思いました。



一票の権利と責任

阿部 昂（20歳）

「ニュースで見たとおりだ」というのが、選挙権を持つて初めて選挙に行った時の第一印象でした。選挙の度に画面で見てきた投票所に、今画面を構成する一人として参加しているという感覚が新鮮だったことを覚えています。さらに今回若年層立会人を務めてみて、画面では見えない角度からの投票所の動きを知るという体験をすることができました。なぜ選挙がニュースになるかと言えば、その結果が明日の社会のあり方を決定づける重要なものだからです。明日の社会のあり方は、私たちはもちろん次の世代にも大きく影響を与えるのですから、選挙権を行使することは、よりよい社会を残すという、次世代への責任を果たすことにつながります。それを常に意識して、今度は画面の向こうで見ている子ども達に「選挙は身近であり重要なもの」と思ってもらえるように振る舞いたいと思います。



選挙の『めいすいくん』

めいすいくんは、明るい選挙のイメージキャラクターです。明るい選挙推進運動の『明』と『推』が名前の由来です。投票箱をモチーフにしていて、頭の2本線は投票用紙の挿入口を表しており、尻尾は投票箱のカギになっています。そして、背中には明るい選挙実現に向かうための羽があります。めいすいくんは、お父さん、お母さん、弟のただしくんと妹のメイちゃんの5人家族です。



パイロットただしくん



ヒコーキめいすいくん



CAメイちゃん

大田区ご当地
めいすいくん



都南小学校
選挙体験教室の様子

若年層向け啓発活動

選挙管理委員会事務局では、将来を担う子どもたちにも、早い段階から政治や選挙に関心を持ってもらうため、小学校6年生を対象に「選挙体験教室」を実施しています。選挙体験教室では、実際の選挙で使用している記載台や投票箱で模擬選挙を行います。児童は「選挙公報」や「候補者ポスター」を見て投票先を考えます。また、投票事務や開票事務も児童たちが運営します。中学校、高校では「生徒会選挙」「模擬選挙」などの支援を行っています。選挙権を持つ前から、選挙をより身近に感じてもらえるように、今後も取り組んでまいります。

令和2年度の活動は以下のとおりです。

- 小学校選挙体験教室（5校）
大森第四小学校、小池小学校、赤松小学校、都南小学校、糀谷小学校
- 中学校生徒会選挙支援（5校）
大森第十中学校、石川台中学校、出雲中学校、六郷中学校、蓮沼中学校
- 特別支援学校模擬選挙（2校）
田園調布特別支援学校、城南特別支援学校

※令和3年2月時点で実施予定の学校も含まれます。

投票所の立会人をやってみて感じたこと

笹丸自治会 田中 延佳

投票立会人をして感じることは、まず投票終了時、投票率はどうだったか、前回よりも上昇したのか、少しでも上昇していれば安堵。

最近、投票立会人として感じることは、30歳代の家族が子ども連れでの投票です。子ども連れは10%まで満たないと思われませんが、子どもには投票箱に入れてみたい欲望があります。投票所が混んでいなければ投函させてあげても良いのではないのでしょうか。今はできないが、彼らは何年後かには選挙権を持つのです。子どもの時を思い出し投票所に来てくれるはず。今を考えることは必要です。でも将来を考えることはもっと必要なので

は。そして何よりも大切なのは魅力ある立候補者が出てきて選挙を盛り上げ、少なくともボランティア精神をもって私達の生活を第一に考えてくれる議員が出てくることを切望するものです。



都知事・都議補選挙を振り返って

御園自治会 丸山 純子

令和2年の都知事・都議補選挙は東京五輪の延期、コロナ禍で前例のない選挙でした。

投票所に足を運ぶ人の数も予測していましたが、頗る少なく、年齢に関係なく全体的にまばらでした。投票当日に集中せず、密を避けるため期日前投票が多かった印象でした。日本中がコロナ感染症への不安と闘いながらの生活だったこと、候補者の街頭演説なども自粛ムードでの活動だったので、候補者それぞれの目指す政策が投票者に伝わらなかったのが投票率の低さの要因だと思いました。

選挙運営側は感染予防対策に苦慮し、設営されましたが、投票率に反映されなかったのが残念でした。今年に限らず、今後生活スタイルも一変することを踏まえ、投票方法を多様化する等工夫が必要不可欠と考えます。

最後に、投票終了後まもなく「当選確定」の報道が出たことを知らされ、投票箱もまだ投票所に置いたままで集計していないのにと皆で顔を見合わせ、拍子抜けしたことを思い出しました。

期日前投票所にての思い

中央四丁目町会 橋爪 一太

私も啓発運動の一環として、投票所の立会人の仕事をさせていただき、大変勉強になりました。ありがたうございました。当日、ある大学生が「今年から投票権を与えられたので、日本国民の一人として、清き一票を、と書いている」と言っていたのを耳にし、私は「ボーイズビーアンビシャス」という言葉を思い出しました。今回の選挙では、高齢者の方が投票所にあまりいらしていないような気がしました。やはり、皆さん新型コロナウイルス感染症が怖いのか、投票所に行くことをためらったのでしょうか。もしかしたら、どこかの国のように郵便投票を実施するか新しい方法も必要かもしれませんね。新型コロナウイルスに勝つために、皆で頑張りましょう！

管理者・立会人をして感じたこと

石川町会 鈴木 陽二

平成28年に明選委員を委嘱され、期日前投票所の管理者・立会人を経験いたしました。本庁舎・特別出張所共に従事しましたが、期日前投票に対する認識は年々高まり、今後も上昇傾向は続くと思われれます。

令和2年はコロナ禍の都知事選でしたが、やはり若い人の参加が少ないように感じられました。これからは高齢化が進む中、投票立会人も大学生をより一層選任し、同席の年長者がアドバイスするなど選挙に関する意識が少しでも高まり、投票率向上につながることを期待しています。投票については、じっくり考える人、一気に記入し投函する人など様々ですが、記入後の投票用紙を投票箱に完全に入れない人も見受けられ、注意が必要でした。

職員の方々も、障がいのある人への丁寧な対応は印象的でした。これからも微力ですが、地域の啓発活動に努めてまいります。

OTAふれあいフェスタに参加して

長原自治会 矢田 和子

令和2年はコロナ禍で、大田区最大のイベントができず残念でした。令和元年のことですが、赤の法被を着て啓発の為の活動を行いました。会場の中では子どもから

大人まで大勢の方で通路がいっぱいで、歩くのがやっとでした。産直の野菜、漬物を販売したり、バザーコーナーもありました。ステージではフラダンス等踊ってにぎやかで楽しそうでした。私の係は、大人は選挙のクイズ、昔の大田区クイズ、子ども達は鉛筆の重さ当てゲームで盛り上がっていました。賞品や啓発のチラシを配り、何度も足を運んでくれた子ども達もいました。とても嬉しそうでした。

この子ども達が選挙権を得るまで選挙に関心を持つという事につながるよう、小中学校でも模擬選挙をもっと広めていけたら関心が出るのでは？貴重な一票だと理解できるように、私達が努力を重ねていくことが必要だと考えています。



OTAふれあいフェスタ 水のエリアの様子



投票所の立会人をやってみて感じたこと

桐里梅田町会 阿部 伸也

まず感じたのは、いろいろな人がいることです。期日前投票では、投票日当日の混雑を避けるためか、お年寄りなど杖や車椅子でやっと投票所にたどり着いて投票する人が多いように感じます。投票所に来るのに何の苦もないはずの若者が少ないようです。年代別投票率を見ても若者の投票率は低いです。

もし、だれに投票したら良いのか分からなくて投票しないのであれば、難しく考えず、他の人を気にせず各々が可能な範囲で判断した候補者に投票すれば良いので、これが民主主義なのですから、気軽に投票に行ってくださいと思います。

今後も投票率が上がるよう、また、投票所のスムーズな運営に少しでも貢献できるよう努めたいと思います。

投票所の立会人をやってみて感じたこと

安方北町会 高橋 晴美

特別出張所での期日前投票所の立会人は何度も経験していましたが、令和元年、初めて当日に投票所で立会人を致しました。投票所では、朝早くから黙々と投票の準備を進めている人達を見て、「今日一日、頑張ろう」という気持ちで席に着きました。投票を終えた人から、「ご苦労様です」「頑張つてね」と声を掛けていただき、嬉しく思うと同時に、励みになりました。また、小さな子どもたちが「バイバイ」と言っって手を振ってくれたり、大勢の人達と触れ合うことが出来た貴重な一日でもありました。令和2年は、コロナ禍での選挙となり、今までは勝手の違う場面があり、多少のとまどいがあった様に思いました。令和3年も選挙がありますが、早くコロナが収束して、落ち着いた中で、有意義な投票ができることを願っています。



投票所の立会人をやってみて感じたこと

蒲田東口町会 齋藤 勝明

私は、令和2年7月5日の都知事・都議補選挙で初めて期日前投票所の立会人になりました。

投票立会人は、投票箱の後ろで、不正が行われていないか監視するのが役割です。私はとても緊張していましたが、以前、母校の体育館で投票が行われたときに、投票立会人の諸先輩方に会釈をしていたいただいた事を思い出しました。私も、投票に来ていただきありがとうございます。次の投票にも来てくださいという気持ちを込めて見守りました。

スタッフはコロナウイルス感染予防のため、入口で手指消毒やマスク着用の確認を行い、マスクを忘れた方には所内で準備したマスクを配布したり、筆記用具を消費したりしておられました。

これから当分の間は、期日前投票をお勧めします。比較的混み合うことなく、スムーズに投票ができていました。

コロナ時期でも安心して投票に来られるように、別会場に待合場所を確保するなどしていただき、これからも多くの方に投票に来ていただきたいと思えます。

明るい選挙推進協議会とは？

明るい選挙推進協議会は、明るい選挙推進運動に取り組んでいる団体です。大田区だけではなく、東京都や都内のほとんどの区市町村に設置されています。これらの団体は、選挙管理委員会などの関係機関と連携協力して、明るい選挙推進のための様々な事業を行っています。



選挙の豆知識

選挙におけるくじ引きとは？

色々な場面でくじ引きにより順番を決めることがあります。選挙においても、意外と多くの場面でくじが使われています。

個々でくじを行い、掲載順序等の偏りをなくすことと、選挙の公平・公正を保障しています。

立候補届出順・ポスター掲示場の順番

立候補届出順は、先着順ではなく、候補者が引くくじで順番を決めています。

選挙になると各所に設置されるポスター掲示場に候補者のポスターが貼られます。このポスターを貼る区画ですが、好きな区画に貼っていいわけではなく、既にくじで決めた「立候補届出順」の番号の区画に貼るよう定められています。

氏名等掲示の掲載順序

選挙管理委員会が引くくじにより決めています。

選挙公報の掲載順序

選挙管理委員会が引くくじにより決めています。そのほか、開票立会人の決定や、得票数が同じ場合の当選者の決定も選挙管理委員会が引くくじで決めています。



抽籤箱



くじ棒

コロナ禍での選挙

選挙管理委員会事務局職員

令和2年は、7月5日に東京都知事選挙と都議会議員補欠選挙が執行されました。新型コロナウイルスの影響により、4月には緊急事態宣言が出される中、「選挙は不要不急の外出にあたらぬ」との見解が出されたことから、コロナ禍での選挙となり、万全の感染症対策が求められることとなりました。

感染症対策物品は当時市場の流通が乏しく、マスクやアルコール消毒液などは早めに購入を進めましたが、複数の取扱店から少しずつかさ集める必要があり、対応に苦慮しました。

また、当日投票所の混雑を避けるために、期日前投票所の利用や混雑時間をリアルタイムでお知らせするツイッターの発信を行うとともに、感染予防のために筆記具持参の呼びかけを行いました。

当日投票所では従事者全員にマスクと手袋の着用を徹底し、各係には飛沫防止用のビニールシートを設け、鉛筆や記載台を定期的に消毒するなど通常とは異なる環境での作業となりました。

このような状況下においても選挙を無事に執行することができたのは、多くの関係者のご協力によるものと感謝申し上げます。

また投票に来られた皆様におかれましては、マスクの着用、手指消毒、ソーシャルディスタンスなど感染症対策の徹底にご理解ご協力をいただき、改めて感謝申し上げます。



©大田区

はねぴよん

令和2年秋の藍綬褒章受章者

▽選挙関係功労者に対する藍綬褒章

世良田 光代 (田園調布地区・敬称略)



受章者から一言

この度、図らずも藍綬褒章を戴くことができました。これも偏に皆様のご指導、ご協力下さったお蔭と心から御礼申し上げます。
何も分からぬまま明選委員をお受けして三十余年。ただひたすら教えられ学びながらの日々でした。今後もご鞭撻よろしくお願いいたします。



明るい選挙推進運動

永年功労者表彰(東京都)受賞者

▽10年表彰



- | | |
|----------------|----------------|
| 奈須野 榮子 (大森西地区) | 高木 美枝子 (入新井地区) |
| 岡本 勝子 (池上地区) | 平林 圭子 (新井宿地区) |
| 吉崎 迪三 (鶴の木地区) | 佐々木 琢磨 (久が原地区) |
| 高橋 三郎 (雪谷地区) | 藤沢 マチ子 (雪谷地区) |
| 山本 知男 (糀谷地区) | 鈴木 早苗 (羽田地区) |
| 小池 正彦 (羽田地区) | 菊地 明子 (六郷地区) |
| 小林 和郁子 (六郷地区) | 篠田 朋子 (矢口地区) |
| 林 香代子 (蒲田西地区) | |

(地区順・敬称略)

永きに渡るご活躍ありがとうございます。これからもよろしく
お願いいたします。

会長からひとしほ

大田区明るい選挙推進協議会会長 安藤 充

みなさん、こんにちは。大田区明るい選挙推進協議会会長の安藤充です。

令和2年7月には、東京都知事選挙と東京都議会議員補欠選挙が実施されました。現在も世界中で猛威を振るっている新型コロナウイルス感染症の影響で、令和2年4月7日から東京都内でも緊急事態宣言が出され、非常に不安な中での選挙となりました。

例年、明るい選挙推進委員の皆様は街頭啓発を行っていたのですが、感染症拡大防止の観点から、やむを得ず取り止めいたしました。

令和2年度は、東京オリンピック・パラリンピックの延期や、多くの事業が中止となり、私たちの日常生活も大きく変わるなど、激動の一年だったと感じております。そのような中でも、明るい選挙推進委員の皆様には、投票所における管理者・立会人として従事していただき、大変感謝申し上げます。

まだまだ新型コロナウイルスの状況は見通せませんが、令和3年度に予定されている東京都議会議員選挙に向けて、選挙管理委員も推進委員の皆様と一丸となり、新しい生活様式の中での選挙執行に向けて、活動してまいりたいと思います。



荒川善夫副会長



安藤充会長



中山六男副会長



岡崎幸夫副会長



令和2年4月1日に選挙管理委員会事務局長に就任した吉川紀代司です。令和3年は都議会議員選挙と衆議院議員選挙が予定されております。今後も公正・公平な選挙の管理執行に努めてまいります。皆様のより一層のご協力をお願いいたします。



©大田区

はねぴよん

令和3年7月4日
東京都議会議員選挙執行
令和3年10月21日
衆議院議員任期満了

投票日当日に投票所に行けない場合は、期日前投票や不在者投票が利用できます。

編集委員

協議会副会長 福井 省三 (大森西地区)

協議会委員 世良田 光代 (田園調布地区)

協議会委員 横山 智恵子 (蒲田西地区)

協議会委員 白田 毅弘 (馬込地区)

協議会委員 吉崎 迪三 (鶴の木地区)

協議会委員 松田 光生 (久が原地区)

協議会委員 藤沢 マチ子 (雪谷地区)

協議会委員 安田 政一 (六郷地区)

協議会委員 畑山 康子 (蒲田東地区)

発行 大田区明るい選挙推進協議会

大田区蒲田五丁目13番14号

電話 03(5744) 1464